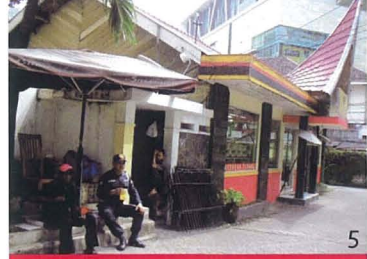




インドネシアってどんなところなの？ 教えて、茶花ぼこさん！

茶花ぼこさんが撮ったジャカルタの写真をながら、インドネシアの旅へちよこつと出かけよう！

1茶花ぼこさんいわく「すごい都会」。高級デパートが立ち並ぶ。2電車や地下鉄がないので、車の数が多く、渋滞がひどい。3バスのドアは閉まらない。すごいスピードで走っても、乗客が落ちることはない(らしい)。4街を駆け回るバイクタクシー「バジャイ」。5休憩中なのか、勤務中なのか…。暑いせいなのか、警備員のおじさんも休みがち。6インドネシアは、無人島を合わせると1万7000以上の島々からなり、島を真珠に見立てて「東洋の真珠」とも呼ばれる。7インドネシア人は揚げものが大好き。屋台ではタロイモや豆腐などいろんな揚げものが売っている。8コンビニもある。インドネシアオリジナルメニューも。9フルーツの屋台。みんな、せかせかせずのんびり過ごしているんだって。



茶花ぼこさんのまんが学校ってどんなところなの？

小学低学年から大人まで、筆ペンやコピックマーカーなどを使って、みんな真剣にまんがの練習にはげんでいます。

ナディアさん(9才)がかきました。

テーマ「将来、何したい？」
13才の時、バスケのトーナメントに出たい。
18才の時、まんがを出したい。
25才の時、好きな人と結婚したい。
インドネシア語でこんなことが書かれています。



茶花ぼこさん自筆イラスト、プレゼント！



信毎長野本社での「こどもまんが展」のために、茶花ぼこさんがかいた看板を、抽選で1名さまにプレゼント！ほしい人は、氏名、住所、電話番号、学年、「自分の好きなまんが」の名前を書いて、こども記者クラブ「茶花ぼこさんのイラスト希望」係までハガキで応募してください(宛先は表の記者ニュースのロゴ下にあります)。9月6日(月)締め切りだよ。



インドネシアのまんがが事情 インドネシア版「NAKAYOSHI」は1冊約270円。1食がほしい約50円だから、結構高いね。

【ハロー！ジャカルタ・まんが教室に参加してくれたこども記者たち】



8月14日(土)付信濃毎日新聞 14~15ページを読んでみてね！



みんな最初は一年生

佐久支社で働いていた入社から約2カ月、傷つけることも記事で人を

「入社7年目、報道部お天気や教育の取材を担当してるよ。」

と聞いたことをそのまま記事にしました。人物像が良く分かるように、細かくいねいに。若いときの苦労話や、先輩思いの面など、自分なりに良く書けたような達成感がありました。

掲載日の翌日、実家にお母さんをたずねると「息子に怒られちゃった」と少し困り顔。普段の優しい面が過ぎ、悪役レズラーのイメージが崩れてしまおうと言われたそうです。無意識に人を傷つけてしまうことがあるのだと、とてもショックを受けました。

自分の目で見たと、感じたことを書くことはもちろん大切です。でも、それが読んだ人にどんな印象を与えるか、よく考えて書かないといけないと思った出来事でした。